

宮陵会報 Kyu-Ryo

No.120

2025・7
(令和7)

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内

TEL 045-481-5661
(内線 2451～3)

FAX 045-413-0791
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「神奈川大学が指定管理者の横浜市開港記念会館」(絵 渡邊 恵子)

目次 No.120

定時社員総会報告	P2
宮陵会事務局からのお知らせ、表彰者芳名、表紙のことば、など	P3
新会長就任のご挨拶	P4
新役員の紹介、Giving Campaign2025で神大生を応援しよう	P5
2024年度事業報告・決算、2025年度事業計画・予算	P6
活躍する卒業生(二本木岳彦さん)	P7
活躍する卒業生(齋藤裕樹さん)	P8
戦後80年記念企画(神奈川大学国際日本学部教授 後田多敦さん)	P9
活躍する卒業生(堤敦さん)	P10
活躍する卒業生(幸地俊一さん)	P11
宮陵会掲示板	P12
卒業生の声	P13～P14
『宮陵』(No.74)の感想、『宮陵会報』No.121号の取扱いについて、ホームカミングデーのご案内	P15
宮陵会主催のジャズコンサート	P16

2025(令和7)年度 定時社員総会報告

今年度の定時社員総会は6月14日(土) 14時から、横浜キャンパス3号館305講堂で開催した。その様子を報告します。(専務理事 佐藤武)

◆本人出席111

議決権行使38

委任状出席40

本会にとつて初めての一般講堂を使用しての定時総会であり、オプザバーながら試験的に社員以外の地域組織代表者も複数名招請した。

社員総数200のうち、本人出席111、議決権行使38、委任状出席40(受任者は議長に30、会長に3、社員個人に7)の計189名の出席。



定時社員総会の様子

庄子さち子理事(昭54法)による総会は、これまでと同様に校歌斉唱で幕を開けた。

はじめに、久保清治会長(昭43賢・50経博)による開会挨拶の後、定款第16条に基づき、総会議長に本会社員の萩谷恵里子氏(昭56法・宮陵会理事)を満場一致で選任。司会者から、定款第18条に定める社員総数の過半数を満たし総会は成立した旨の報告があり、議長が議事録署名人に社員の山本俊雄氏(昭45建)と平出功氏(平11化学)の2人を指名、審議に入った。

◆議案は原案通り承認

議事は、久米信行専務理事(昭49経)が①報告事項として24年度の事業報告、25年度の事業計画及び予算②決議事項として第1号議案の「24年度



久保会長挨拶



内田青藏新会長挨拶



石渡理事長挨拶



戸田学長挨拶



横山コーチ謝辞

決算承認の件」を説明。監事の金子浩也氏(平17経博前)が監査報告を行った。質疑応答などを経て、第1号議案は原案通り承認された。

報告事項に関連して、社員池上敏昭氏(昭56電)からは、24年度事業報告と25年度事業計画及び予算の説明の順序と説明資料の順序の不整合等に関する意見、社員泉澤高光氏(昭47英)からは、①会誌・会報の郵送費の予算と実績の差異に関する質問②経費削減の実績が予算額に反映されていないことに関する質問が出され、久米信行専務理事が対応した。

続いて、佐藤武専務理事(昭56経)から決議事項の第2号議案の「役員の選任の件」を説明。萩谷議長が定款第19条第3項の規定により候補者ごとに決議を行い、原案のとおり承認され、新役員(4〜5頁に掲載)が決定した。

◆石渡理事長、戸田学長らが来場

続いて、石渡卓学校法人神奈川大学理事長、戸田龍介神奈川大学長(本年4月就任)、坂本郁夫学校法人神奈川大学常務理事および鶴藤倫道学校法人神奈川大学常務理事、並びに花嶋とみ子事務局長・理事が入場された後、司会者が臨時理事会で決定した新三役(会長、副会長、専務理事)を会場で紹介した。続けて、石渡理事長、戸田学長からそれぞれ近況報告を含めたあいさつがあった。

最後に、司会が「24年度表彰者芳名」を披露した後、出席した特別表彰の水泳部1団体と4名の個人に対し、久保清治会長から表彰状と記念品が授与されたことに對し、表彰者を代表して水泳部ヘッドコーチの横山貴さんから謝辞のべられ、全てのスケジュールが終了した。

宮陵会事務局 からの お知らせ

◆ 会議予定

理事会 2025(令和7)年 10月3日(金)
12月5日(金)

◆ 夏季一斉休暇

2025(令和7)年 8月12日(火)～8月15日(金)

◆ 地域組織新代表者紹介

福井県宮陵会	昭53経	櫻井雅康 様
兵庫県宮陵会	昭50法	杉村隆士 様
港南区宮陵会	昭63賢	和知親裕 様
学士山岳会	昭53法	五井和彦 様

■ 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

2025(令和7)年2月17日

宮坂恒一 様(昭39電) 前長野東北信会長

2025(令和7)年4月22日

平能孝一 様(昭48賢) 宮陵会参与、前港南区宮陵会会長

2025(令和7)年6月9日

宇久田進治 様(昭43賢・平22経博前) 宮陵会相談役



表紙のことば

題名「神奈川大学が指定管理者の横浜市開港記念会館」
(2025年6月制作 F10号)

関東大震災後の1928(昭和3)年に復興した会館は、横浜学院(神奈川大学の前身)設立と同時期でした。ジャックと呼ばれる尖塔に登るための狭い螺旋階段を右手に、マリンタワーを中央奥に配しました。赤レンガの建物が、現在の横浜キャンパス噴水池の水面に映ったら綺麗かも?と想像の翼を広げました。
渡邊恵子(1977年法学部法律学科卒)

▼日本美術協会や上野の森美術館、フジサンケイグループが主催する「第38回日本の自然を描く展」に『宮陵会報』No.119号の表紙絵(渡邊恵子さんの作品)が入選。



元宮陵会副会長の平能孝一さんのお別れの会が開かれた

(同級生で男子バスケットOB会顧問・塩塚定雄さん
「昭和48年卒」から寄せられました)

本年4月22日に逝去された元宮陵会副会長の平能孝一さん(享年74歳、昭48賢、宮陵会参与、前港南区宮陵会会長)のお別れの会が5月31日、神奈川大学横浜キャンパスのラックスホールで開かれた。写真。ごく親しい方にお声掛けをしたところ、平能さんのお人柄ゆえで、久保清治宮陵会前会長を始め他の宮陵会メンバーや在職中の同僚、在籍したバスケット部の仲間など75人の方々が、ご家族と共に参加してくれました。平能さんは生前、「想い出 人の繋がりは縁なるもの」(小冊子)をまとめられ、当日参加者に配られた。平能さんとの縁によって繋がった絆を大切に、今後も親交を深めていきたい。

◆ 事務局よりお願い

【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。詳細につきましては、同封の「会費納入要領」をご参照ください。

【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願いします。

① 神奈川大学ホームページ

卒業生登録情報登録・変更のご案内

(https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni_menu/registration/)

② FAX 045-413-0791

③ E-mail

kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



※登録いただきました情報につきましては、皆さまの個人情報の重要性を深く認識し、個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。

表 彰 者 芳 名

■ 功労表彰(表彰規程第2条第2号該当)
地域組織関係
坪内邦至様
昭和40年法経学部経済学科卒業
元島根県宮陵会会長

夏秋博隆様
昭和48年法学部法律学科卒業
元佐賀県宮陵会会長

■ 感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)
地域組織関係
阿佐慶正秀様
昭和52年工学部建築学科卒業
元沖縄県宮陵会会長

熊谷貞彦様
昭和40年第一法経学部経済学科卒業
元硬式野球部OB会会長

■ 特別表彰(表彰規程第2条第4号該当)
水 泳 部
第100回日本学生選手権水泳競技大会
女子総合優勝

小島優々美様
人間科学部人間科学科2年
第66回日本選手権(25m)水泳競技会
女子50m平泳ぎ 優勝

長岡愛海様
経済学部現代ビジネス学科2年
第66回日本選手権(25m)水泳競技会
女子100m平泳ぎ 準優勝
第66回日本選手権(25m)水泳競技会
女子100m背泳ぎ 優勝
第66回日本選手権(25m)水泳競技会
女子200m背泳ぎ 優勝

星野レイ様
人間科学部人間科学科2年
2024年度JOCジュニアオリンピックカップジュニアインズカップレスリング選手権大会
U20の部 68kg級 優勝
令和6年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会
女子68kg級 優勝

新倉すみれ様
令和7年人間科学部人間科学科卒業
文部科学大臣杯令和6年度全日本学生レスリング選手権大会
女子72kg級 優勝
令和6年度天皇杯全日本レスリング選手権大会
女子72kg級 準優勝
2024 Seniors Asia Championships
72kg級 7位
人間科学部人間科学科2年
2024年度JOCジュニアオリンピックカップジュニアインズカップレスリング選手権大会
U20の部 68kg級 優勝
令和6年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会
女子68kg級 優勝

内藤未唯様
第17回世界短水路選手権(25m)女子200m背泳ぎ 11位
令和7年人間科学部人間科学科卒業
2024日本学生陸上競技個人選手権大会
女子1000m 優勝



新会長就任のご挨拶



今回、会長に就任した内田青藏でございます。最初に簡単な自己紹介から始めたいと思います。

私は、1975（昭和50）年神奈川県工芸学部建築学科を卒業しました。その後、大学院修士課程に進み、

博士課程は東京工業大学大学院（現東京科学大学）に進学しました。専門領域は建築史で、欧米化が開始された明治以降のわが国の住宅建築の変容過程に関する研究を進めてきました。大学院修了後は、東京工業大学附属工業高等学校（現東京科学大学附属科学技術高等学校）、文化女子大学、埼玉大学を経て2009（平成21）年から母校である神奈川大学で教鞭をとっております。いわば一介の研究者であり教育者です。私自身、宮陵会の役割が出身大学を支えることとすれば、会長職は学生にとつての就職面や大学運営上のサポートとなると経済界でご活躍の方々の方がふさわしいのではと思っています。

しかしながら、前任者である久保会長も研究者であり教育者でした。

その久保会長、そして私と会長職に大学人が続いたのは、偶然かもしれませんが、教育面から大学をバックアップしたらどうかという暗示のようにも感じております。

宮陵会の機関誌『宮陵』74号です。でにお読みと思いますが、前久保会長が現在の神奈川大学の状況について、忌憚（きたん）のないご意見を寄せています。私も拝読し、正直、同じ思いを抱きました。

素朴ですが、卒業生のひとりとして、母校が国内の大学の中でも価値あるものとしての高い評価を得ること、絶えず成長を遂げ、世界へとその名を轟かす存在になることを夢見しています。09年に赴任する際は、微力ながらそうした大学への変貌の力になりたいと考えていました。こうした思いもあって、私は所属する建築学科を他大学が既に進めていたように建築学部にも格上げすることをめざしました。改組を通じて、優秀な学生を集める契機（きげん）として考えたからです。大学の理解を得て、建築

学部を創設させていただきました。教育の質を高め、優秀な学生を集めるという目的の達成にはまだまだ時間がかかりますが、現在、優秀な卒業生を世に送り出すことを目指し、教育を展開しているところです。

卒業生として母校に対する思いはつきません。何とか一歩でも夢に近づきたいと思うのです。そのためには、どうすべきか。やはりわれわれ卒業生は、創立者米田吉盛の「教育は人を造るにあり」という言葉に立ち返ることが求められているように思います。もう一度「教育」の力を信じ、大学と一緒に学び舎の「人を造る（教育）」の具体化を目指し、神奈川大学独自の大学教育を実現することこそ評価を高める道ではないかと思うのです。そのためには、われわれの母校愛に満ちた声を大学に届ける必要があります。そしてまた、改革を推し進めるためには、神奈川大学をこよなく愛し、その成長を求める教員の存在が不可欠であり、そのためには本学出身者の教員をもつ

と増やしていただくことが必要ではないかと感じています。

最後になりますが、あと3年で母校が100周年を迎えます。宮陵会では、この100周年をどう祝うのかという大変重要な課題に直面しています。正直、荷が重く且つ責任も伴う課題ですが、この時期に遭遇したことを名譽（なご）と考え、また、楽しみなから卒業生の皆さまとご一緒に創設100年をお祝いするための準備に向かいたいと考えています。ただ、その準備は私や理事の皆さんだけでは手に余ります。どうぞ、皆さまのお力をお借りしながら、ご一緒に進めていきたいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻（むち）とともにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



新役員の紹介



専務理事
佐藤 武
(昭56経)
組織委員会委員長



専務理事
久米 信行
(昭49経)
総務財政委員会
委員長



副会長
三宮 政俊
(昭51法)
事業委員会委員長



副会長
小林二三夫
(昭48賢)
交流企画委員会
委員長



副会長
原 柳作
(昭46英)
広報委員会委員長



会 長
内田 青蔵
(昭50建)



理 事
内山 曜子
(昭53経)



理 事
森 川 藏
(昭52法)



理 事
大 野 実
(昭50法)



理 事
宮澤 俊次
(昭48経)



理 事
藤井 俊二
(昭46法)



専務理事
萩原くみこ
(昭59法)



理 事
指 旗 博
(昭62応化)



理 事
能 重 幸夫
(昭62経)



理 事
貞方 康伸
(昭60電)



理 事
末吉 孝弘
(昭60法)



理 事
永和田隆一
(昭57経)



理 事
萩谷恵里子
(昭56法)



監 事
横山 朗
(平18法務)



監 事
金子 浩也
(平17経博前)



監 事
藤田 伸哉
(昭50賢)



理 事
古閑千保子
(平13英)



理 事
和 知 親裕
(昭63賢)

学生を応援し、支え、ファンとなる

～Giving Campaign 2025で神大生を応援しよう～

神奈川大学学生団体がオンラインチャリティーイベント
『Giving Campaign2025』に参加します

◆開催期間：2025年10月10日（金）～19日（日）

○主催：神奈川大学 ○後援：文部科学省 ○運営：株式会社Alumnote（アルムノート）

Giving Campaign（ギビング キャンペーン）は全国の大学・大学生の様々な活動に光を当て、支援の輪を広げ、新たな支援者を創出するためのオンラインチャリティーイベントです。

学生自らがさまざまなSNSなどを通じて自分たちの活動内容や取り組み姿、目標や夢などを多くの方に発信することで支援を呼びかけます。

支援者からの応援投票数などの一定の条件に応じて協賛企業から

の協賛金が配分されるほか、皆さまからの応援メッセージや寄付金を学生団体へ届けることができるイベントです。

本キャンペーンを通して学生のさまざまな活躍を知っていただき、個々の団体に一人でも多くのファンが増えることを期待しています。皆さまからの温かいご支援をお待ちしています。

（イベントの詳細は、9月以降の神奈川大学HP等でお知らせします）



Giving Campaign2025
公式ホームページ

2024年度 事業報告

- 2025・2026年度代議員を選任するための選挙を実施し、200名の代議員が選任された。
- 新規の地域組織として「神奈川大学信州宮陵会」「神奈川大学法曹宮陵会」「神奈川大学シェイクスピア英語劇研究会OB会」が設立された。
- 地域組織のブロック会は8ブロック、総会（地域、職域、同期・同好）は88組織において開催された。
- 神奈川大学教育振興基金への寄付として200万円、課外活動団体への活動援助金として300万円を法人へ寄付した。
- 給付奨学金として学部生3名及び大学院生8名に対し、総額3,697,250円を給付した。
- 財政改革実施特別委員会及び地域組織拡大・特別強化委員会が行われ、それぞれ答申書が提出された。

2025年度 事業計画

- 2025・2026年度役員（理事20名・監事3名）の選任。
- 関東ブロック会の立上げ。構成地域組織は、千葉県、茨城県、栃木県、群馬、群馬東毛、埼玉県、町田、西多摩の8組織。
- 宮陵会設立90周年事業の準備委員会の設置。
- 卒業生専門職（士職）による無料相談会は、相談申込件数の減少に伴い2025年度は一旦休止する。
- 神奈川大学への寄付執行及び給付奨学金の給付執行（学部生及び大学院生）。

詳細は宮陵会ホームページでご確認いただけます。

正味財産増減補正予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで（単位：円）

科 目	予 算 額	補 正 額	補正予算額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	11,000		11,000	
基本財産受取利息	(1,000)		(1,000)	
特定資産受取利息	(10,000)		(10,000)	
(2) 受取会費	118,640,000		118,640,000	
正学生会費	(5,890,000)		(5,890,000)	
準学生会費	(112,750,000)		(112,750,000)	
雑収入	330,000		330,000	
受取利息	(30,000)		(30,000)	
雑収入益	(300,000)		(300,000)	
経常収益計	118,981,000	0	118,981,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
給料手当	10,100,000		10,100,000	
退職給付引当金繰入額	185,000		185,000	
福利厚生費	1,250,000		1,250,000	
会議費	880,000		880,000	
旅費交通費	6,420,000		6,420,000	
通信運搬費	32,827,000		32,827,000	
消耗品費	1,559,000		1,559,000	
印刷製本費	8,740,000		8,740,000	
慶弔費	2,200,000		2,200,000	
賞金	410,000		410,000	
諸謝金	620,000		620,000	
支払負担金	3,300,000		3,300,000	
支払助成金	14,400,000		14,400,000	
支払寄付金	5,250,000		5,250,000	
支給奨励金	4,000,000		4,000,000	
委託手数料	1,030,000		1,030,000	
雑費	100,000		100,000	
事業費計	93,271,000	0	93,271,000	
② 管理費				
給料手当	10,100,000		10,100,000	
派遣事務費	3,000,000		3,000,000	
臨時雇用賃金	410,000		410,000	
退職給付引当金繰入額	185,000		185,000	
福利厚生費	1,250,000		1,250,000	
会議費	1,720,000		1,720,000	
旅費交通費	4,860,000		4,860,000	
通信運搬費	1,000,000		1,000,000	
減価償却費	44,000	836,000	880,000	
消耗什器備品費	200,000		200,000	
印刷製本費	720,000	432,000	1,152,000	
慶弔費	650,000		650,000	
賞金	1,400,000		1,400,000	
賃借料	410,000		410,000	
保険料	440,000		440,000	
委託手数料	6,975,000	△ 4,200,000	2,775,000	
支払手数料	340,000		340,000	
雑費	250,000		250,000	
管理費計	33,954,000	△ 2,932,000	31,022,000	
経常費用計	127,225,000	△ 2,932,000	124,293,000	
当期経常増減額	△ 8,244,000	2,932,000	△ 5,312,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,244,000	2,932,000	△ 5,312,000	
一般正味財産期首残高	334,219,163	34,187,513	368,406,676	
一般正味財産期末残高	325,975,163	37,119,513	363,094,676	
II 指定正味財産増減の部				
① 受取寄付金				
受取寄付金				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	325,975,163	37,119,513	363,094,676	

貸借対照表

2025年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金	313,262	415,865	△ 102,603
普通預金	56,509,937	55,387,770	1,122,167
振替預金	338,696	271,246	67,450
定期預金	212,000,000	212,000,000	0
前払金	16,000	16,000	0
流動資産合計	269,177,895	268,090,881	1,087,014
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
奨学金積立資産	110,000	110,000	0
神奈川大学創立100周年積立資産	91,000,000	81,000,000	10,000,000
宮陵会設立90周年積立金	6,000,000	4,000,000	2,000,000
退職給付引当預金	4,280,845	3,695,196	585,649
特定資産合計	101,390,845	88,805,196	12,585,649
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	77,000	121,000	△ 44,000
その他固定資産合計	77,000	121,000	△ 44,000
固定資産合計	104,467,845	91,926,196	12,541,649
資産合計	373,645,740	360,017,077	13,628,663
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	726,956	888,319	△ 161,363
前受金	21,000	18,000	3,000
預り金	210,263	362,399	△ 152,136
流動負債合計	958,219	1,268,718	△ 310,499
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,280,845	3,695,196	585,649
固定負債合計	4,280,845	3,695,196	585,649
負債合計	5,239,064	4,963,914	275,150
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
（うち基本財産への充当額）			
（うち特定資産への充当額）			
2. 一般正味財産	368,406,676	355,053,163	13,353,513
（うち基本財産への充当額）	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(97,110,000)	(85,110,000)	(12,000,000)
正味財産合計	368,406,676	355,053,163	13,353,513
負債及び正味財産合計	373,645,740	360,017,077	13,628,663

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 財産運用益	7,520	3,070	4,450
基本財産受取利息	(51)	(51)	(0)
特定資産受取利息	(7,469)	(3,019)	(4,450)
(2) 受取会費	122,572,000	122,753,000	△ 181,000
正学生会費	(6,877,000)	(7,908,000)	(△ 1,031,000)
準学生会費	(115,695,000)	(114,845,000)	(85,000)
③ 雑収入	817,806	589,086	228,720
受取利息	(129,806)	(9,086)	(120,720)
雑収入益	(688,000)	(580,000)	(108,000)
経常収益計	123,397,326	123,345,156	52,170
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	8,717,311	8,737,952	△ 20,641
退職給付引当金繰入額	292,824	170,014	122,810
福利厚生費	1,145,151	1,485,753	△ 340,602
会議費	287,217	637,050	△ 349,833
旅費交通費	3,821,405	5,029,838	△ 1,208,433
通信運搬費	31,026,311	32,889,728	△ 1,863,417
消耗品費	1,230,318	485,335	744,983
印刷製本費	9,387,781	8,628,916	758,865
慶弔費	1,871,000	2,027,500	△ 156,500
賞金	372,900	372,900	0
賃借料	901,398	440,343	461,055
諸謝金	6,300,000	6,300,000	0
支払負担金	11,746,123	10,178,905	1,567,218
支払助成金	5,447,500	5,000,000	447,500
支払寄付金	3,697,250	3,413,750	283,500
支給奨励金	1,034,674	275,454	759,220
委託手数料	10,025	77,104	△ 67,079
雑費	87,289,188	86,150,542	1,138,646
事業費計			
② 管理費			
給料手当	8,717,310	8,737,952	△ 20,642
派遣事務費	3,175,487	380,029	2,795,458
臨時雇用賃金	292,825	170,014	122,811
退職給付引当金繰入額	185,000	170,014	14,986
福利厚生費	1,145,151	1,485,753	△ 340,602
会議費	1,134,376	923,572	210,804
旅費交通費	3,865,043	4,389,557	△ 524,514
通信運搬費	714,684	683,437	31,247
減価償却費	44,000	44,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
印刷製本費	568,908	508,529	60,379
慶弔費	492,448	395,422	97,026
賞金	975,850	767,076	208,774
賃借料	372,900	372,900	0
保委手数料	409,640	409,640	0
支払手数料	487,300	559,290	△ 71,990
委託手数料	255,585	242,495	13,090
雑費	103,118	121,796	△ 18,678
管理費計	22,754,625	20,191,462	2,563,163
経常費用計	110,043,813	106,342,004	3,701,809
当期経常増減額	13,353,513	17,003,152	△ 3,649,639
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,353,513	17,003,152	△ 3,649,639
一般正味財産期首残高	355,053,163	338,050,011	17,003,152
一般正味財産期末残高	368,406,676	355,053,163	13,353,513
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	368,406,676	355,053,163	13,353,513

「まかれた場所で咲きなさい」

湘南信用金庫専務理事 二本木 岳彦（63歳）

貿易研究部の同期 14人



昭和55年、18歳だった私はとにかくこの国から出たかった。卒業後は貿易商社などで働き、異国の人を相手に海外で仕事をしたかった。そんな漠然とした将来像を持っていたため神大の貿易学科への進学を選択した。入学後は部活動でも当時の学連で一番歴史があると言われていた貿易研究部（質研）に入部し、この質研の仲間たちと切磋琢磨しながら授業が終わってからも当時の日本が抱えていた貿易問題や経済問題などについて勉強し熱い議論をした。多感な時期にこのような濃い時間を共有した彼らとの付き合いは当然40年以上がたった現在でも続いている。

一見このように順風満帆にスタートを切ったようにも見た私の

学生生活ではあったが、その裏で当時の日本経済は第二次オイルショックからの立ち直りに時間を要し、就職活動に入る前年の昭和57年度においてもまだ巷の景気は回復していなかった。直近では平成20年のリーマンショック後がそうであったように当時も貿易関連ではもちろん、その他多くの企業も大幅に求人絞っていた。募集人数を「若干名」と表示している企業も目立った。そのような中、当時TOTOというバンドのAFRICAという楽曲がグラミー賞の各賞を総なめしていて、なぜか私はこの未開の地だったアフリカという大陸に行き、そこででっかい商売をしてやる！こんな根拠の無い自信を抱きつつ、現実として人生の大きな岐路である就活という渦の中にいた。今日の言葉で言えば完全にカオスのような状況で、いま考えると空恐ろしくもあるが、当時は多分に漏れず恐れを知らない若さというものを抱えていたわけで、それはそれで素晴らしいことだったのかも知れない。



本店長時代

結局志望した貿易関連企業からの内定は皆無で、内定を頂戴できたのは証券会社数社と地元の信用金庫だけだった。両親とゼミの教授だった名島先生に相談をした末、最終的に質研の先輩が就職をしていた地元の信用金庫にお世話になることにした。22歳で信金マンとして社会人生をスタートした私は、預金係、融資係、営業係と一通りのキャリアを積みながら異動と昇格を重ね、気が付くと三十代半ばで支店長になっていた。もしかすると自分はこの職に向いているのかも知れない。そう思うようにもなっていた。そうこうしているうちに五十



六角橋キャンパス3号館での講義

代に入り、今度はまさかの役員に選任された。またこの時期には母校から講義を依頼され、六角橋キャンパスで教壇に立つことにもなった。以前職場の上司が事あるごとに部下職員に對し言っていた「まかれた場所で咲きなさい」という言葉を思い出す。まさにその通り自分にはこの仕事に向いていた訳じゃない。ここにまかれたのだ。還暦を過ぎたいま、心からそう思う。



にほんぎ・たけひこ
横須賀市出身 1984(昭和59)年経済学部貿易学科卒業。同年横須賀信用金庫(現・湘南信用金庫)入庫。企業再生本部長、債券管理部長、本店長等を経て2020(令和2)年より現職。

「出会い」を紡いで、かけがえのない「縁」へ

ファラーシャ・インターナショナル CEO

齋藤

裕樹(50歳)



さいとう ひろき
1975(昭和50)年横浜市生まれ。1998(平成10)年外国語学部英語英文学科(小川水尾ゼミ)卒。中堅旅行会社で旅行企画から仕入れ・手配・営業業務をこなす一方、添乗員として世界90カ国以上を訪問。ありきたりでない旅の魅力を学ぶ。2022(令和4)年ランドオペレーター業務とインターナショナル・イベントを中心としたイベント企画・運営を行うファラーシャ・インターナショナルを創業。著書に「ダークツーリズム入門」(共著/ノースプレス)。尊敬する人はシンガポール建国の父、リー・クアンユー。

中学、高校時代とのめり込んだのが国際交流活動。まだ今のように手軽に海外旅行には行けなかった当時は、自治体の試験を受け、夏休みなどの長期休暇に姉妹都市などに派遣される海外派遣事業が盛んにおこなわれており、そんな私も中学時代には中国・遼寧省へ、高校時代には米国テキサス州へと派遣される機会に恵まれました。

この二度の経験は私を海外旅行に開眼させるには十分で、神奈川大学外国語学部英語英文学科に入学以降は、日々学習塾の講師のアルバイトに



明け暮れて資金を貯めつつ、長期休暇になると学習塾の講習の仕事すべて断って海外旅行に出かける、そんなことの繰り返し4年間を過ごしていました。かといって授業をさぼっていたわけではなく、きちんと

授業には出席、特に語学系の授業は学べば学ぶほど旅行の際に役に立つわけで、熱心に勉強に励んだものでした。

あつという間の4年間、就職活動は何の迷いもなく旅行会社1本、それも大手志向ではなく、旅行の企画から添乗までなんでもやることのできる(やらなくてははいけない)中堅会社に絞って望み、何とか第一志望の会社に就職することができました(同期入社7人のうち、神奈川大学の同じゼミの仲間と2人が内定していたことには心底驚きました)。この会社では、社内でツアーの企画や仕入れ・手配を担当しつつ毎月のように海外添乗に出かけ、在職中に訪れた国数は90を超えます。中には今では治安上危険で訪れることが難しい国々も含まれます。30歳半ばで中堅社員となった頃、この会社は残念ながら倒産してしまい、今では存在していませんが、それでも単に一旅行好きでただでは到底訪れることなどできなかった国々を訪ねることができたこと、そして、この会社で経験した、学んだことが今の私の礎になっ

ていることは紛れもない事実です。

その後紆余曲折を経てコロナ禍の2021年に会社を辞め、独立して自分で旅行関係の仕事をするようになりました。私の人生計画には全くなかった独立でしたが、その時に私を助けてくれたのが「人と人との繋がりがり」人脈」でした。それまでに紡いできた「縁」が独立間もない私を大いに助けてくれ、そして新たな「出会い」を「縁」に変え、その新しい縁が新たな仕事の可能性を運んでくれました。私は社交辞令が大嫌いで、本当にまた会いたい人には、「またお会いしましょうね。で、いつにしましょうか?」と具体的な約束を



添乗員として海外に赴くことも。ブルネイは大好きな国の一つです



国際イベントの企画・運営も業務の一翼。手配した変面師の方々と記念写真

するようにしています。そうすることにより、お互いの関係がより深まり、その先の関係が続いていくことにもなるからです。振り返ってみれば、人生の要所要所に縁を大切にしてくれた人が近くにいてくれ、そして私の人生に大きな影響を与えてきました。だからこそ、皆さんにも縁を大事にして生きて行ってほしいと思います。「出会い」はあくまでも偶然、「縁」は自らの努力により、出会いを昇華させたものなのです。今の神奈川大学にも長きにわたって縁を紡いできた大切な方がいらっしゃるのは本当に嬉しい限りです。

阿波根 昌鴻写真展

沖縄展にて特別ゼミを開催

今年は1945（昭和45）年の日本の敗戦から80年です。各地で80年に関連企画が行われ、メディアでも多くの情報が報道されています。ここでは宮陵会会員の後田多敦さん（神奈川大学国際日本学部教授）に沖縄発巡回展「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」にまつわる話題を書いてもらいました。（編集部）

尊厳を奪う米軍の行為を記録し、島には人間が住んでいることを示そうとしました。写真には理不尽な状況と、その中でも生きている住民の姿が記録されています。島に人間が生きていることの記録でもあります。

神奈川大学の身近な学生の多くは阿波根さんを知りませんでした。そこで、後田多卒業研究では巡回展の始まりとなった沖縄展で、特別沖縄ゼミを開催。展示会オープンセミナーに神大生8人（学部生4人・大学院生4人）が参加して、沖縄戦研究の一線で活躍する石原昌家沖縄国際大学名誉教授と沖縄戦の証言をしまくとうば（沖縄の言葉）で記録する活動

◎後田多 敦 1986（昭和61）年法学部法律学科卒業 神奈川大学国際日本学部教授

「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」のチラシ



「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」のチラシ



セミナーで話を聞くゼミ生たち



宜野湾市の普天間飛行場を望む高台。神大卒業生も参加



糸満市摩文仁の「平和の礎」で

オープンセミナーには、平日にもかかわらず50人ほどの市民も参加。セミナーの進行は後田多が担当しました



「戦後80年 平和を発信する沖縄写真巡回展」と銘うった「否戦の心と人間愛の眼 阿波根昌鴻写真展」が6月17日、沖縄県那覇市内で始まりました。今後は神奈川県、北海道、広島県、福岡県、愛知県でも開催されます。展示会は実行委員会形式で沖縄県も共催。沖縄戦と1972年までの米国占領統治という歴史を生きた沖縄から、写真を通して平和を訴え、「核も基地もない世界」の構築のためのメッセージを発信することが目的です。私自身は周辺からの応援です。

この写真展では伊江島の平和運動家として知られる阿波根昌鴻さん（あはこんしろうこう、1901〜2002）が1955年から60年代半ばにかけて撮影した写真（およそ3200点）から、300から400点選んで展示されます。伊江島の戦闘は

「沖縄戦の縮図」といわれるほど、激しいものでした。米軍は1945年4月16日に上陸して21日には島を制圧、その間激しい戦闘となりました。日本側の死者約3500人のうち、1500人は住民です。島を占拠した米軍は全住民を島外へ強制移住させ、住民が島に戻れたのは二年後です。その後も米軍の土地の強制接収は行われます。

その伊江島で、阿波根さんは米軍の理不尽な行為や土地接収の不当性に対し抗議の声をあげながら、非暴力の抵抗を続けました。さらに、伊江島の窮状を訴えるため、「乞食行進」と称して沖縄各地を回ったりしました。島の生活改善にも取り組みを行っています。非暴力で平和を訴え続けた阿波根さんは「沖縄のガンジー」とも称されています。

その活動の中で、阿波根さんは当時の沖縄では貴重な写真を撮ります。人間の

“バイト協奏曲” — 働きながら学んだ男、現在進行形

株式会社ジョイスジャパン代表取締役社長 堤 敦 (68歳)

父が倒れたことで大学時代は苦しい生計の下で、2つの奨学金を受けながら、家業の電気工事の手伝いとアルバイト三昧の日々でスタートしました。早朝の魚河岸、競輪場の審判補助員、ガソリンスタンドの夜勤、バーテンダーや家庭教師…。

今思えば、得難い社会経験をする事となり、この時期に培われた現場独特の感覚、数字の示す大切さ、失敗体験の数々が、後の社会人としてキャリア形成の際に役立った実感があります。



当時、学業はといえば、ノートは借り物、試験は一夜漬け、出席は…。まあ時効というところで(笑)。卒業単位はギリギリで決して威張れる学生ではありません。

した。ただ、前さえ向いていればどうにかなるものだといった根拠なき自信みたいなものは、不思議とありました。

卒業後は在学中にアルバイト講師をしていた会計領域を専門とし、その他多くのビジネスライセンス(資格)の取得教育を提供する大原学園に入社しました。その後30歳でこの学園を一度離れ、大手石油会社やマーケティング・ITコンサルティングの世界を経験して再び大原学園に戻る事になりました。

一度離れ、企業の現場で営業活動やマーケティング、システム導入とその活用などに携わる中で気づいたのはライセンス(資格)取得だけで人は育たないということ。そこにプラスアルファが必要な



インド レバ大学日本語センター開校式 (前列右から4人目が私)

のは実践的な教育であるということでした。その後は、多くの企業と連携を進め、実践教育の開発プロジェクトに力を注いでいくことになりました。振り返ると、バイトや転職時代に積み上げた汗と経験が、職業教育を考える上での「骨格」になった気がします。机上の理論だけでは伝わらない、「仕事のしんどさ」「お金を稼ぐ意味」「人との関わり方」——そうした「実践で役立つ」を伝えることが、自分の役割になっていったのです。



インド レバ大学日本語センター開校式 (前列右から3人目私→学長→日本総領事)



つつみ あつし
1957(昭和32)年横浜市生まれ。「浜っ子」歴68年。経済学部貿易学科卒。大原学園の経営企画、理事を歴任。ジョイスジャパン代表取締役就任(自動車運送業界の労働力不足解消と国際共生社会づくり)。

経営企画室、理事を歴任しながら海外との教育提携に活動範囲が広がり、文科省のパイロット事業でインドへは17回の渡航も経験しました。大原学園引退後、68歳のいまは、外国人ドライバーの育成・紹介を行う(株)ジョイスジャパンの代表取締役を務めています。人手不足の自動車運送業界を支え、「教育」と「働く」を軸にした国際共生社会づくりは、自分の歩みの集大成だと感じています。学生のみなさん、働く現場は、学びの宝庫なんです。私のような「なんとかなる」精神を発揮して失敗を恐れず自分探しの旅に出かけてみてください。応援しています。



趣味のバイク (45年かけて全都道府県走破)

神大の縁が つないでくれた、今の自分

合同会社 kanap 幸地 俊一 (40歳)

故郷・沖縄から建築家になるという目標を胸に横浜へ。

文化の違いに少し戸惑いながらも、友人に恵まれ、夢中で駆け抜けた大学生生活でした。朝はラクロス部の練習、夜は居酒屋でアルバイト、深夜は建築課題に取り組み日々。時間に追われながら欲張っているのと挑戦しましたが、建築学生にとって集大成である卒業設計は中途半端に終わってしまいました。そんな自分が今、設計事務所を構え、独立して活動できているのは、神奈川大学出会った多くの人たちのおかげです。卒業後就職できずにいた私を、当時



共同代表の成田佑弥氏と

神大を退職されたばかりの高橋志保彦先生が主宰する設計事務所「kanap」に、設計事務所クロス部出身の成田佑弥さんとともに、設立以来、それぞれ異なる得意分野を生かしながら、「建築プロジェクトの個性

からない私を「建築の世界」に本格的に導いてくださいました。高橋先生には、感謝してもしきれません。初めて自分でデザインを手がけたのも、神大のつながりからでした。同級生の田中健太さんが世界一周の旅から帰国後、横浜市野毛でゲストハウスを立ち上げることに。大学時代の仲間と一緒に、古民家をDIYしながら改修した「ゲストハウス FUTARENO」の設計を任せてもらいました。まさに原点ともいえるプロジェクトです。

現在、同じく神大建築学科＆ラクロス部出身の成田佑弥さんとともに、設計事務所「kanap (カナップ)」の共同代表として活動しています。2021年の設立以来、それぞれ異なる得意分野を生かしながら、「建築プロジェクトの個性

を最大化する」をテーマに、多様なプロジェクトに取り組んできました。最近ではスタッフも加わり、うれしいことにそのメンバーも神大の卒業生。さらに、現役の神大生もアルバイトとして一緒に働いてくれています。最近の代表作は、品川区西中延に建つ4戸のメゾネット型長屋で、開かれた共用アプローチやSOHO利用にも対応した土間、住戸の距離感を保ちながら光と風を取り入れることができるテラスを備え、地域とつながる暮らしを促す計画が評価されました。そして、故郷・沖縄での活



横浜・野毛のゲストハウス「FUTARENO」



品川区西中延 4戸のメゾネット型長屋「ヨシノコネット」



那覇市久茂地飲食テナントビル「28」(鳥村鋼一氏撮影)



こうち・しゅんいち
1985(昭和60)年沖縄県生まれ。2008(平成20)年工学部建築学科卒業。高橋建築都市デザイン事務所、cap design studioを経て、2016(平成28)年Lods一級建築士事務所を創業。2021(令和3)年合同会社 kanap を設立。

動も少しずつ広がっています。那覇市久茂地では、現地の友人とともに、飲食テナントビルを設計。ジグザグに配置したテラスが、上下階の気配をつなぐ、にぎやかで楽しい建物になりました。今後は、東京と沖縄の二拠点での活動を本格化させていく予定です。

こうして振り返ると、今の自分は、神大での出会いと経験に支えられてきたのだと改めて実感します。その一方で、まだ何ひとつ母校に恩返しできていないことにも気づかされました。この文章を書くことが、その第一歩になれば――。

そんな想いで、これからも母校とつながっていかれたらと思います。

宮陵会掲示板

ヘルスケア宮陵会設立に向けて

(参加者募集)

宮陵会では、これまでにもいくつかの職域組織が立ち上がり、同窓生同士の交流や情報交換を活発に行っております。このたび、成長産業として注目されている「ヘルスケア」分野に関わる皆さまとも、同様のネットワークを築いていきたいと考え、新たな職域組織の設立に向けて参加者を募集いたします。

入会対象者は、医師・看護師・薬剤師・理学療法士などの医療従事者、ケアマネージャーや介護福祉士といった介護従事者、さらにフィットネス指導員やマッサージ施術者など健康づくりに携わる方々まで、多岐にわたります。また、これらの分野に製品やサービスを提供しているメーカー、流通、商社などにお勤めの方も対象としています。

まずは勉強会や情報交換会を通じて親睦を深め、同窓生同士のつながりを築いていければと考えております。今年度後半には初回の

メール oba@sstn.site

勉強会開催を予定しており、一定数の参加希望が集まり次第、宮陵会の正式な職域組織としての登録を目指します。

現職の方もOB・OGの方も大歓迎です。ご関心をお持ちの方は、どうぞお気軽にご連絡ください。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

▽連絡先 株式会社さすてな

代表取締役 大場勝仁

(元インフィックス株式会社取締役副社長／中小企業診断士／

1994年経済学部貿易学科卒)

※卒業年・学部・お名前・ご職業を明記のうえ、メールにてご連絡ください。

■神奈川大学行政書士宮陵会

設立総会のお知らせ

(参加者募集)

◎日時 2025年9月13日(土)

▽総会 14時30分(開場 14時)

▽懇親会 16時

▽会場 総会 神奈川大学宮陵会館(30号館) B1会議室、懇親会

(未定) 神奈川大学1号館8

階又は大学近くの中華料理「福臨門」

▽会費 8千円

(懇親会、今後の通信費 2千円を含む)

メール officetana@b01.itscom.net.

▽問い合わせ・申込先

宮陵会副会長・小林二三夫(事務局長就任予定)

電話 090-8802-8927

■留学生を招いたバーベキューのご案内 (参加者募集)

◎日時 2025年11月15日

(土) 13時15分～16時

▽集合場所 玄海田公園バーベ

キュー場 (横浜市指定管理者が運営)、横浜市緑区長津田みなみ台3-1

電話 050-5369-

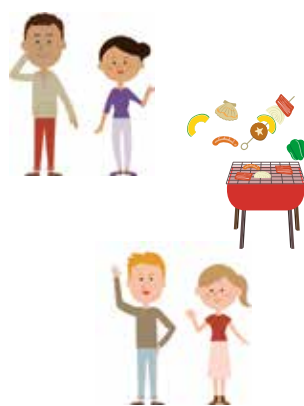
6234

アクセス JR長津田駅からバス

「若葉台中央」行に乗車。「玄海田」または「公園前」にて

下車、徒歩約1分または長津田駅から徒歩20分程度。

▽会費 4千円(ご同伴の中学生以下のお子さんは無料、ご家族でのご参加歓迎)



メール md260159-2338@tbu.t-com.ne.jp

▽申込先 横浜北宮陵会・事務局長 福本昌弘

▽申し込み期限 バーベキュー場の予約・食材購入の関係で10月15日(水)

■プロバスケットB・

LEAGUE2部西地区「熊本ヴォルターズ」に

所属する保坂晃毅さん(ほさかこうき 令和7年神大国際経営学科卒 愛知県出身)がおります。

ご当地チームなので、ぜひ皆さんさんからの応援を期待しています。(情報提供 熊本県宮陵会メンバー)

【プロバスケットB・LEAGUEは2016年秋、野球、サッカーに次ぐ日本3番目のプロスポーツとして発足し、現在(2024-2025シーズン)は街づくりの核として1部24チーム、2部14チーム、3部16チームがあります。

その中に神大の卒業生は、B1アルバルク東京の小酒部泰暉さんや川崎の小針孝也さんなど現在9人が活躍しているそうです】





卒業生の声

多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。



忘れられない

学食の思い出

栃木県 志村 雄偉 (41歳)

2007 (平成19) 年経済学部貿易学科卒業

神奈川大学の学生食堂は有名で、テレビでも何度か取り上げられています。私も学生時代には大変お世話になりました。定食やカレーライス、ポリウム満点のハンバーグなど、どれもお手頃な価格で提供されており、学生の胃袋をしつかりと支えてくれていました。中でも私のお気に入りにはカレーライスで、ご飯にぴったりの合ルーの味は今でも忘れられません。

特に印象に残っているのは、バイト代が入る前で金欠だったとき、友人と割り勘でカレーライスを注文したことです。その姿を見た厨房の方が笑顔で「これどうぞ、サービスよ」と、もう一皿のカレーライスを提供してくれました。そのときに食べたカレーの美味しさは、今でも心に深

く残っています。

物価高騰で野菜やお米の価格も上がっているなか、現在でもお手頃な価格で食事が提供されているようです。朝食は今年度限定で神大生ならワンコインの50円という、信じられない価格。また、一般の方にも400円で提供しており、地域の助けにもなっているのは明らかでしょう。学生だけでなく、近隣に住む高齢者や子育て世代にも親しまれていると聞きます。学食の役割は、単なる「食事を提供する場所」を超えた存在になっているに違いありません。

私は地元の栃木県に戻って就職しましたが、横浜を訪れた際にはぜひまた、あの安くて美味しいカレーライスを味わいたいと思います。懐かしい味と共に、学生時代の思い出もよみがえることでしょうか。



昭和40年代の
北海道旅行

広島県 中村 利夫 (78歳)

1971 (昭和46) 年

工学部応用化学科卒業

神大生 (昭和42年から46年) の頃に、東京出身の私と北海道出身の寺前君と、2人で行った北海道旅行について述べたい。

◆第1回目 (昭和44年の夏に積丹半島を除く44日間の旅) 上野発青森

行の急行列車「八甲田2号」に乗り、青森から青函連絡船で函館へ向かった。函館山から一望した函館の港町は手に取るようで、目を見張る光景であった。函館から洞爺湖へ向かった。透明度が高く、青く澄み切った湖のほとりでテントを張った。夏というのに、秋を思わせる涼しい気候に感謝し、札幌へ向かった。札幌の大通り公園で、とうきびを食べ、芝生に横

になった。芝生は、マヨネーズをかけて食べたい衝動に駆られた。札幌から美唄へ向かう、日本一長い直線道路から、どこまでも続く広大な平野を眺めた。釧路から摩周湖へ向かった。霧の摩周湖と聞いていたが、晴天で、波一つない鏡のような湖が見られた。摩周湖から網走の原生花園へ向かった。紅色のハマナスの花が咲き乱れ、心が癒された。網走から、ヒグマ除けの鈴を付けて知床へ向かった。エゾマツやトドマツ、ミズナラなどの原始林が残る知床半島の山並を、湖面に映した知床五湖を見て回った。宇登呂まで戻って、テントを張った。満点の星を眺めながら、一晚を過ごした。最終日に、寺前君の実家がある美唄に泊まった。五目鮎や乾鰯を御馳走になった。四六時中開いている三菱美唄炭鉱内の大浴場に入って、旅の疲れを取った。

◆第2回目 (昭和45年の夏に積丹半島8日間の旅) 小樽から積丹半島

へ向かった。海食崖および岩礁が延々と続く積丹岬で、テントを張った。周辺の海で泳ぎ、つぶ貝を食べた。そこで知り合った中央大学生の札幌の実家に泊まった。鮭やジンギスカン料理を御馳走になった。その妹さん (大妻女子大生) の案内で、赤レンガの北海道庁へ行き、開拓史を見学した。



「黄綬褒章受章の
感慨」

石川県 的場 晴次 (77歳)

1970 (昭和45) 年法学部法律学科卒業

宮陵74号で神奈川大学法曹宮陵会の発足を知りました。私は平成5年6月1日に石川県行政書士会に入会し理事・副会長・会長となり、現在は相談役を務めています。

昨年は石川県行政書士会の推薦を受けて、黄綬褒章受章の榮譽に輝きました。令和6年5月13日ホテルニューオータニで黄綬褒章親授式が執り行われ、午後から皇居豊明殿において天皇陛下からお褒めのお言葉を

賜りました。これで偏に陰で支えてくれた妻への恩返しができたかなと思うと、感慨深いものがあります。神奈川大学法曹宮陵会の総会には機会が有りましたなら、出席したいと思つています。その節は宜しくお願ひ申し上げます。



初めての 保養所利用

栃木県 川中子武保(69歳)
1980(昭和55)年法学部法律学科卒業

梅雨前線が日本列島を這い上がり、九州地方が奄美地方を71年ぶりに飛び越えて「梅雨入り宣言」をした5月17日、そして、箱根町が、その日の暴風雨に見舞われた代表の町としてTVKテレビに放映された日、私たち夫婦は、箱根登山バス「仙石」バス停に降り立ちました。

箱根には、これまで箱根登山鉄道などを利用し何度も訪れました。4回目の今回は、「古希」を迎える私と、妻への日頃の感謝の意を込め、駅伝ルートを眺めながらバスに乗つてやつてきました。保養所直近のバス停である「仙石」からは、ひたすら保養所を目指し、妻が暴風により、2回も飛ばされそうになりながら、何故、こんな日を選んだのかと悔みながら、保養所にやつとのこと着い

た。2人とも全身ずぶ濡れで、やさしい受付の方の案内で、保養所の温泉利用を促され、ホッと一息。豪華な夕食にも大いに癒されました。特に、先に注文しておいた「鮑」「榮螺」がこれまた絶品で、「純米酒箱根山」と「ワイン」で美味しくいただきました。

今回、暴風雨の中の宿泊となりましたが、夫婦2人にとって、一生忘れることができない、初めての保養所利用の記念日となりました。お気遣いいただいた保養所職員の皆さん、本当にありがとうございます。皆さまでございともご利用下さい。心がホッとしますよ。



「ヨーロッパは 遠くなりにけり」

石川県 花岡 鉄男(76歳)
1971(昭和46)年
法学部法律学科卒業

この春、5度目のヨーロッパを訪問。これまで東西南北と区切り、その特徴ある都市を訪ねた。今回は、EUの中核・パリ。

往路は、ウクライナ戦争のためシベリア領空が飛行できず、北極海を横断。通常9時間のところ4時間も余計に缶詰状態となった。

第二次大戦中、欧州の大半を占領

したヒトラーは、市街地の焦土作戦に乗り出すが、部下がその命に服さずパリを守ったとされる。ベルリンにいるヒトラーが何度も言ったという有名なフレーズ「パリは燃えているか!」。おかげで古い教会や美術館、街並みが残り、モナ・リザやマリアンヌにもお目にかかれた。わが国にも多くの文化遺産があったが、空襲で灰燼に帰したことを憂いつつ、気骨あるドイツ軍人に感謝。

復路は、南ルート。トルコで東進し中国に。飛行機ルート表示が旅順、大連を指す。日清・日露の戦争、帝国陸海軍の二〇三高地の攻防、旅順港閉塞、連合艦隊などについては司馬遼太郎著『坂の上の雲』に詳しいが、将校美化が胡散臭く、一氣に嫌いになった。

その後の太平洋戦争。開戦当初は多くの国民は万歳を叫んだ。やがて劣勢となり降伏。長い戦争が終わった。発端はロシアの南下防止のため中国大陸侵攻にあった。プーチンがNATO拡大防止のためにウクライナへの侵攻を企てたのと同じ理屈。国家の生存を善とするなら、日露ともに善となろう。

歴史に「もし」はないが、国策の大半は失策、失政である。そのツケを払うのは常に国民である。古今東西、人間の為すことは曖昧で身勝手、都合の悪いことは忘却の彼方へ。戦後

80年経過した今も世界中でバカげた戦争が起こっている。外交ですら商談とそぶく某国大統領に多くを期待できない今、仏独に指導力を発揮せよといいたい。

欧州は今回で終了し、次は中国に行く予定。まずは魏呉蜀の三国時代、そして隋唐の世界も覗いてみたい。齢76。身体が持つかどうか。母校創立100周年の時、世界はどうなっているだろうか。卒業生の皆さま、お達者で!

宮陵会報 No121 号(12 月中旬発行)の「卒業生の声」のご投稿をお待ちしております。

▽発行 25 年(令和 7) 年 12 月中旬

▽体裁 A4 判、16 頁(予定)

▽部数 約 60,000 部 ▽字 数 600 字ぐらい

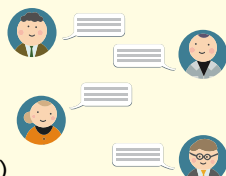
▽テーマ 自由(原稿は一部手直しすることがあります)

▽送付先 郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(原稿確認のため、メールアドレス、電話番号(携帯電話も)を明記し ①郵送の場合は、〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 3-17-1

②メールの場合は、kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp

のいずれかで神奈川大学宮陵会「会報 121 号」係へ。

▽締め切り 25(令和 7)年 10 月 27 日(月)。掲載分には記念品をお送りします。



大 大学の歴史の重さと懐かしさを、心深く感じる一冊でした。特集「過去から未来へ」では、私が入学前の出来事が写真と記事で載っており、とても興味深かったです。毎回思うのは、各方面でいろいろな方が活躍されている。まさに開かれた港町の大学です。そして今回最も感銘を受けたのは、1面の久保会長のあいさつです。米田先生と直に話されたりし、上智と肩を並べる時代になるとのこと。私も入学時、教授から同様のことを聞きました。今は苦戦とのことですが、われわれ卒業生も在校生や入学生に希望を与える存在でいたいと感じました。

（千葉県、88年経済卒）

神 大の歴史や文化などの歩みが理解できる記事が詳しく載っていたので、ありがたい冊子になっていた。（福島県、73年法律卒）

幻 の神大清輝寮・現実となる!!」の記事を読んで、横須賀市衣笠に学生寮があったなんて驚きました。生まれも育ちも横須賀だったので、縁を感じる内容でした。もし場所が分かっているなら近所なので訪れてみたい。

（神奈川県、2015年情報システム創成卒）

亀 山さまの「学生時代の思い出」は面白く拝読させていただきました。石田先生の商業英語の講義はわかりやすく、人生経験も交えながら、非常に印象深いものであった。私のゼミの先生（佐藤甫先生）も今年4月に亡くなられたことを含め、感慨深いものを感じました。（千葉県、85年貿易卒）

J ICA 帯広センター梅本さまの経験談は読んで面白かった。（千葉県、2017年英文卒）

風 景写真家の松井章さんの写真に魅了されました。全ての写真がまるで絵画のように見えました。（神奈川県、2024年人間科学卒）

学 友の皆さんの活躍に目を通す前に、先ず目に入ったのは「過去から未来へ」の写真と記事で

（神奈川県、2024年人間科学卒）

した。私は75年入学なので、7076年6月の「ロックアウトとスト決行中の看板」は、学生時代の進級試験を思い出す懐かしいものでした。「地域組織だより」では、友人が所属する神奈川県ブロック会を見つけ、元気を確認し、久々のメールであいさつを交わすことができました。明日は箱根保養所に初めて伺います。妻も大変楽しみにしています。感想も後日、報告したいと思います。（栃木県、80年法律卒）

兵 庫島の田上富信氏の「希望」を読み、神大は不本意入学であつたこと、民法の児玉ゼミで学び、国家公務員上級試験に合格し建設省に内定したが、学歴差別を知り、内定を辞退。神戸大学大学院に進学し「学歴に関係ない」学者になった。並々ならぬ努力と賢明な選択、そして母校への期待には大変感銘を受けました。（香川県、71年経済卒）

（神奈川県、2024年人間科学卒）

■25(令和7)年12月発行『宮陵会報』No121号の取扱いについて(事前のお知らせ)

標記の件は、25年度の宮陵会本部定時社員総会や事前にいただいた定時総会第1号議案（24年度決算承認の件）に関するご意見への回答として、次のようご説明させていただきましました。経費節減の一環としての措置について、ご理解いただければ幸いです。

宮陵会本部の「財政改革実施特別委員会」の答申等を踏まえた財政改革（経費節減）の一環として、これまでは『宮陵会報』を住所が判明している会員約12万名に送付していたものを、本年12月発行の『宮陵会報』No121号につきましては、試行的に25年4月1日時点での正会員（本部への会費納入者）の約6万名に限定して送付することに變更いたしますので、予めお知らせ致します。（専務理事 佐藤武）

ホームカミングデーのご案内

今年もホームカミングデーを開催いたします。

懐かしいキャンパスで旧友との再会を楽しみ、思い出を語り合うひとときをお過ごしください。

◆日時：2025年11月2日（日） ◆会場：横浜キャンパス

◆対象卒業生：以下の対象年次のみなさまには、招待状（ハガキまたはメール）を9月下旬ごろ、順次大学登録のご住所にお送りいたします。

送付先の住所変更等は下記のQRコードからお願いします。

卒業後1-10年	2015（平成27）～2025（令和7）年3月・9月卒業
卒業後20年	2005（平成17）年3月・9月卒業
卒業後30年	1995（平成7）年3月・9月卒業
卒業後40年	1985（昭和60）年3月卒業
卒業後50年	1975（昭和50）年3月卒業

◆学園祭のご案内：みなとみらいキャンパス学園祭／11月1日（土）・2日（日）※11月2日（日）は、ホームカミングデーとの同時開催となります。
横浜キャンパス大学祭／10月25日（土）・26日（日）

◆問い合わせ先：ホームカミング実施事務局（総務部校友課） TEL:045-481-5661(代)

住所変更
QR





読者プレゼント

神奈川大学宮陵会が主催する10月4日の「ジャズコンサート」(内容は、右のお知らせを参照)の入場券を、卒業生の希望者に抽選により、25組(50人)に差し上げます。



神奈川大学宮陵会主催の ジャズコンサート



神奈川大学英語英文科卒業後、約15年間ロサンゼルスを拠点にジャズピアニスト・作曲家として活躍し、今は生まれ故郷の新潟県長岡市を拠点に日本全国に活動の幅を広げコンサートを開催する Masumi Yamamoto (山本真純) さんが、本年10月4日(土)、横浜市開港記念会館を会場に「スペシャルジャズコンサート in 横浜」と題した演奏会を開く。

神奈川大学宮陵会が主催するこのコンサートは、課外活動団体の神大ジャズ研究所の学生や同研究所の学生と交流のある明治学院大学の学生も、プロ演奏家たちの演奏前時間を利用して演奏するのが特徴。

Masumi Yamamoto さんの「凱旋コンサート」として昨年6月、学生や卒業生、教職員など約300人を対象に横浜キャンパス



で行ったところ大好評を博した。『宮陵会報118号』で既報)そこで、今年は会場を大学構内ではなく、横浜市の歴史的建造物である横浜市開港記念会館(神大などが指定管理者として運営)で一般市民を対象に有料で行う。昨年同様、氏がロサンゼルスで結成した「TLQ PLUS」のメンバーとの共演。前売り券(全席自由、4000円)発売中。WEBや電話予約で。

電話はカンフェティ 050(3092)0051 (平日10~17時)。

♪ 山本さんのメッセージ ♪

LAを拠点に活躍の話題のピアニスト Masumi Yamamoto(神奈川大学卒)が名だたるミュージシャンと共演。レジェンド達と共に待望の横浜公演！ スティービーワンダーやローリングストーンズなどと共演の Trevor Lawrence(Sax) も来日！ 魂を揺さぶる "Hot Jazz" をぜひ体感してください！

スペシャルジャズコンサート in 横浜

Crater On The Moon -REDISCOVERED-

Masumi Yamamoto (Piano)

Trevor Lawrence (Sax)

Brent Nussey (Bass)

Gene Jackson (Drums)

2025年 **10月4日(土)**

開場17時 開演18時30分
(神奈川大学、明治学院大学のジャズ研によるオープニングアクト17時～)

横浜市開港記念会館・講堂 (横浜市中区本町1丁目6番地)

全席自由: 4000円(税込)

プレイガイド

★WEB予約・お電話予約 どちらでも受付可★

お電話予約: カンフェティ 050-3092-0051

(受付時間 平日10:00~17:00※オペレーター対応)

主催: (一社)神奈川大学宮陵会(開港会)

共催: 横浜市開港記念会館、(一社)横浜JAZZ協会

後援: 神奈川大学、(公財)横浜市民文化振興財団、神奈川新聞社

協力: (株)ヤマミュージックジャパン 横浜みなとみらい

企画・運営 M's Music And Arts (msmusicandarts@gmail.com 070-1496-1005 平日10:00-17:00)

いつも応援ありがとうございます。今年は、横浜を代表する美しい会場の「横浜市開港記念会館」で公演させていただきます。今の私があるのは、神大学生時代に培った「Believe yourself 自分を信じる」という力のおかげです。私たちの音楽を通して、その想いをぜひ皆さまに感じていただけたら幸いです。今年もスティービーワンダーなど名だたるミュージシャンと演奏した、トレヴァーローレンス(サクソ)が来日し演奏します。今回は、横浜を皮切りに大阪(10月6日)、京都(同8日)、名古屋(同10日)、新潟(同12日)、東京(16日)、長岡(同18日)で演奏します。(左上のQRコード先から詳細をご覧ください)皆さまにお目にかかれる日を心待ちにしております。

▼応募の締め切り 9月1日(月) 17時必着
▼送付先 はがき(〒222-10802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1) メール(kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp)
▼神奈川大学宮陵会「ジャズコンサートプレゼント」係はがきまたはメールには、郵便番号、住所、氏名、卒業年、卒業学科、電話番号またはメールアドレスを書いてお送りください。
▼発表 当選者には9月中旬までにチケットを送付いたします。